

-----

-- 昼放送 20100324W (特・押田崇・菅原龍・藤本美保・村上泰基・竹内麻優子・阿部温子・名古屋謙彦・黒川絵里加・坂尾美帆) --

時刻は12時15分になりました。

みなさんこんにちは。

3月24日 水曜日、お昼の放送です。

はじめに、合格体験を聴く会の案内です。

このあと 1時半から、3年生のみなさんに、大学の合格体験談を聴く会があります。

場所は、

- ・東京大学コースが、化学階段教室、
- ・医学部コースが、物理階段教室です。

時間は、1時半から 3時までです。

それぞれのコースの講師は、

東大コースが、

- 文科三類合格、元 應援團長の佐々木凌(ささきりょう)くん、
- 理科一類合格、化学部で無線部の畠山幸大(はたけやまゆきひろ)くん、
- 理科二類合格、放送委員のわたくし、坂尾美帆の 3人、

医学部コースが、

- 秋田大学合格、音楽部の村上輔(むらかみたすく)くん、
- 岩手歯科大学合格、囲碁将棋部の鈴木啓生(すずきよしお)くん、
- 東北大学合格、化学部で囲碁将棋部の植田怜男(うえたれいお)くんの3人です。

合格体験を聴く会は、このあと、1時半からです。

参加を希望する人は、1時半に、それぞれの教室に集まってください。

以上、連絡でした。

(音楽)

きょうは、終業式と離任式の日でした。

(取材：千恵)

9時半にはじまった終業式では、

はじめに、賞状伝達と、皆勤者の表彰がおこなわれました。

代表で賞状を受け取ったのは、

ハートフルエイズデーポスターコンクール 最優秀賞の、

2年7組 宮和佳子(みやわかこ)さんと、

校内読書感想文コンクール 白堊賞の、

2年8組 武田健一郎(たけだけんいちろう)くんでした。

つづいて1年生 100人、2年生 108人の皆勤者の表彰がありました。

校長先生の講話では、

「人生に無駄なことはひとつもありません。物事はすべて見方・感じ方の問題です。

苦難には真っ正面から向き合い、成功にもおごらずに、

日々の努力を続けていって下さい」とお話しされました。

終業式につづいて、離任式が、おこなわれました。  
今年、一高を離れるのは、次の 11人の先生方です。  
まず、退職されるのが、

英語の早坂仁志(はやさかひとし)先生、  
保健体育の佐々木清悞(ささききよし)先生、  
事務長の竹高昭(たけたかあきら)さんの 3人です。

長い間、ありがとうございました。

転任されるのは、次の8人の先生方です。

- ・ 副校長の中村道典(なかむらみちのり)先生は、大船渡東高校の校長になられます。
- ・ 英語の鈴木雄平(すずきゆうへい)先生は、秋田県立湯沢高校の教育専門監に、
- ・ 数学の及川満(おいかわみつる)先生は、大迫(おおはさま)高校へ、
- ・ 物理の沼井薫(ぬまいかおる)先生は、大野高校へ、
- ・ 地歴公民の牧野秀教(まきのひでのり)先生は、福岡高校へ、
- ・ 国語の松澤祐一(まつざわゆういち)先生は、軽米高校へ、
- ・ 数学の梅津久仁宏(うめつくにひろ)先生は、  
県教育委員会事務局の、教職員課経営指導主事に、
- ・ 保健体育の中村和平(なかむらかずひら)先生は、  
スポーツ健康課の指導主事兼保健体育主事に、それぞれ移られます。

10時に始まった離任式には、1・2年の生徒のほか、  
卒業したばかりの卒業生も、駆けつけました。

先生方のあいさつは、思い出に残るものがたくさんありました。

英語の早坂先生は、

「これからの人生の方向性を決めるのが、一高の三年間だと思う。  
成績面でつまづいたとしても、  
その経験を活かして道を切り開いて行ってほしい」とお話しになりました。

英語の鈴木先生は、「every cloud has silver lining」、

直訳すると、「どんな雲にも銀の裏地がついている」という意味の英文を例に、  
絶望があっても必ず希望が見えるものだと お話しになりました。

保健体育の佐々木先生は、

「規格外の人間がこれから作っていきます。  
みなさんも型にはまらない 大きな人になってください」と話していました。

また、きょうの離任式では、  
一高生の基本的な生活面に対する指摘が、いくつかありました。

事務長の竹高さんは、  
マフラーやコートを着たまま事務室に入ってくる一高生を例に、  
マナーについてお話しされました。

竹高さんは、  
「人間関係は積み重ねです。  
マナーを守れる人になってください」とお話しになりました。

物理の沼井先生は、  
「一高にはあいさつがまだまだ足りないと思う。  
転任しても電話で確認して、  
あいさつが足りないようだったら怒りにきます！」と話していました。  
いくら沼井先生に会いたくても、あいさつはしっかりするようにしましょう。

副校長先生、及川先生、梅津先生、  
牧野先生、和平先生、松澤先生にも大変お世話になりました。  
本当に、ありがとうございました。

以上、きょうの終業式と、離任式の話題でした。

では、春休み中の予定をお伝えします。

21日の日曜日から、スキーの選手権大会が長野でおこなわれていて、  
2の5 藤澤良介(ふじさわりょうすけ)くんが参加しています。  
また、きょうから、ハンドボールの全国選抜大会が 花巻でおこなわれています。

あすからは、陸上の強化合宿が 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場でおこなわれ、  
2の2 欠畑岳(かけはたがく)くんと、  
増戸俊太郎(ますとしゅんたろう)くんが参加してきます。

あさっては、新入生の入学手続きがあります。

剣道部は あさってから、  
秋田でおこなわれる魁星旗(かいせいき)争奪大会に参加します。  
また、硬式野球部は関東に遠征、  
柔道部は、北上や秋田で 合宿、  
音楽部は、マリオスで 合唱講習会を予定しています。

27日の土曜日からは、

全国ジュニアオリンピック春季水泳大会が、東京でおこなわれます。  
ハンドボール部は 花巻で、  
男子テニス部は 大曲(おおまがり)で練習試合を予定しています。

28日の日曜日からは、

- ・男子テニス部の東北春季ジュニア大会が 仙台で、
- ・女子テニス部のウィルソンチャレンジ大会が 名取(なとり)で、
- ・男子ソフトテニス部の山形近県高校研修大会が 山形で、それぞれおこなわれます。

31日の水曜日には、男子バレー部が花巻北高校で、練習試合を予定しています。

4月の予定です。

1日は、テニスの 福島南スプリングフェスティバルがおこなわれ、  
男子テニス部が参加してきます。

4月1日には、新入生の生徒会オリエンテーションがあり、  
各部と同好会の紹介をすることになっています。  
ライバルは、隣の部活です。

2日(ふつか)の金曜日から、4日の日曜日には、  
男子バレー部が 青森工業高校で、合宿を予定しています。

文化部では、演劇部が、独立公演をおこないます。 (取材: 真衣)

演劇部の独立公演は、4月3日の土曜日に、盛岡劇場タウンホールでおこなわれます。  
今回上演するのは、

- ・2の3 藤原瑞基(ふじわらみずき)くん 脚本の、『キラキラ ハワイアン』と、
- ・1の7 菅原大嗣(すがわらひろつく)くん 脚本の、『ある夜』の二本です。

藤原くんの『キラキラ ハワイアン』は、  
盛岡城跡公園に住んでいるおじいさんと、  
そのおじいさんを取りまく人たちの人生をめぐる物語です。  
今年は一高が 130周年を迎えるということで、  
その長い時間を考えながら作ったそうです。

菅原くんの『ある夜』は、  
アキラという少年の成長をえがいた物語です。  
神秘的な世界を作りあげました。  
キャストの気迫と、機材と装置の動きに、ぜひ注目してほしいとのことです。  
藤原くんは、  
「劇のなかで、誰にでもあてはまる気持ちがあると思います。  
それをぜひ、見に来たお客さんに共感してほしいです」と話していました。

演劇部は、25日の午後、

テレビ岩手の「5きげんテレビ」に出演して、独立公演を宣伝します。

4月3日の演劇部独立公演は、

盛岡劇場・タウンホールで、1時半に開場、2時開演です。

入場は無料です。

ぜひ、みなさんでどうぞ。

また、放送委員会は、3日と4日の二日間、

千葉県の高校と合同合宿をおこないます。

春休みは、4月5日の月曜日までで、4月6日が新任式と始業式、

次の日が入学式で、4月8日が課題テストと対面式です。

始業式には、白堊の翼のメンバーも、元気に顔を見せることでしょう。

以上、春休み中の予定について、お伝えしました。

なお、学校の予定については、一高のウェブサイトでも確認できます。

一高のウェブはケータイでも見られますので、ぜひブックマークしておきましょう。

さて、海外でがんばっている白堊の翼のメンバーは、

あすの午後1時15分に、サンフランシスコを発ち、日本に帰ってきます。

(取材：佑奈、友理恵)

3月3日に日本を出発した白堊の翼のメンバーは、

5日から11日までビクトリアに滞在しました。

ビクトリアでは、

「St. Michaels University School(セント・ミッシェルユニバーシティースクール)」で  
語学研修プログラムを受けながら、ホストファミリーと過ごしました。

放送委員の饗庭佑奈は、

ホストファミリーにダウンタウンを案内してもらっている最中に、

バンクーバーパラリンピックの聖火ランナーに遭遇しました。

聖火リレーのゴール地点であるビクトリアの州議事堂の前では、

聖火点灯式がおこなわれていました。

州議事堂の前にはたくさんの方が押し寄せ、

「Go, Canada, go!(ゴー、カナダ、ゴー!)」と言って、

聖火ランナーに声援を送っていたそうです。

また、州議事堂の周りでは、パラリンピックの開催を祝って、

たくさんの歌手が、祝福の歌である「ハレルヤ」や国歌などを歌っていました。

ビクトリアでの最終日の12日は、

市内を観光したあと、高速フェリーでシアトルに向かいました。  
シアトルでの週末は、それぞれのホストファミリーと過ごしました。

15日の月曜日からは、

「Christian Faith School(クリスチャン・フェイス・スクール)」、  
通称 CFSでの生活が始まりました。

初日の朝の集会では、メンバーが、

自己紹介と、「日本の一年」のプレゼンテーションをしたあと、  
一高の校歌を披露しました。

発表には、盛大な拍手と歓声を送られて、とても温かい雰囲気だったそうです。

学校では、シアトルでの生活全般をお世話してくださる、

インターナショナルセンターの

Shriene Ibusuki(シュリーン イブスキー)さんの英語の授業が主(おも)でした。

CFSの授業は、

ひとりひとりが前日の出来事を 英語でスピーチすることから始まります。

日常生活に役立つ会話表現や語彙が中心で、

完全に使いこなせるように、何度でも繰り返し、"自分で話して"身につけます。

授業では、Shriene(シュリーン)さんの質問に答えるだけでなく、

メンバー同士が質問しあって会話をしました。

そのとき大人気だったのが、引率で数学科の、高橋健(たかはしけん)先生です。

高橋先生が大好きなメンバーたちは、先生に集中的に質問をしていました。

そのかいもあってか、

いつもメンバーたちに英語を指摘されていた高橋先生も、

驚くほどあっという間に、きちんと会話ができるようになっていました。

実際に話して身につけることの大切さを体感した、メンバーたちでした。

17日の火曜日には、

CFSで勉強している 幼稚園児や小学校低学年の子供達に、

日本文化の紹介をおこないました。

10人のメンバーが、

AチームとBチームに分かれて各教室を回り、

紙鉄砲の作り方や 福笑い、

折り紙で ハートや鶴の折り方を紹介したそうです。

折り紙を教えるのには苦労しましたが、

ある女の子が、

「ハートはお母さんに、鶴はお父さんにプレゼントするわ」と話してくれたのが、  
とても嬉しかったとのことでした。

幼稚園児に一番人気だったのは紙鉄砲で、「もう1回!もう1回!!」と、  
破れた紙鉄砲を持ってくる子がたくさんいました。  
ある男の子は、勢い余って、  
何度やっても紙鉄砲を1回で破ってしまい、作る方が全く間に合わなかったそうです。

こうして、AチームとBチーム、あわせて7クラスを回ったメンバーは、  
やんちゃな子供達のパワーに すっかり圧倒されてしまったようでした。

最後の授業があった 19日には、  
放課後にホストファミリーやCFSの先生方を招いて パーティーをおこないました。  
メンバーは、女子は浴衣、  
男子は甚平を着て参加したため、現地の方々からは 大好評でした。

パーティーでは はじめに、  
ひとりずつ 1分間程度のスピーチをし、校長先生から卒業証書をいただきました。  
そのあと、「校歌」と「第十應援歌」、「上を向いて歩こう」を歌いました。  
最後はさんさ踊りを披露し、ほかの人たちにも教えて、みんなで一緒に踊りました。  
現地の方は、知らない踊りに苦戦していましたが、  
輪になって声をかけあい、とても盛り上がりました。

ビクトリアとシアトル、合わせて3週間のホームステイも、いよいよおしまいです。  
今は、旅の最後の地 サンフランシスコで、観光を楽しんでいることでしょう。

白堊の翼のメンバーは、  
あすの午後1時15分に、サンフランシスコから日本に飛び立ちます。  
日付変更線を越えて日本につくのは、あさっての夕方5時になる予定です。  
その日は成田に一泊し、27日の午後1時22分に、新幹線で盛岡に戻ってきます。  
メンバーたちは、どんな成長をとげて帰ってくるのでしょうか。  
大きなスーツケースにつめ切れないほどの思い出を、  
みやげ話に聞かせてもらいましょう。

次に、先週おこなわれた 高校の合格発表の様子をお伝えします。  
(取材: 遥・千恵・舞子)

先週の金曜日に、公立高校の合格発表がおこなわれました。  
一高でも、発表の45分前の午後2時15分には、  
発表を待つ中学生や、  
カメラを持ったおとうさん・おかあさんが集まり始めました。  
また、部活の勧誘をしようとする一高生や、マスコミ各社もやってきて、  
発表の5分前には、校舎前がいっぱいになりました。

午後3時、吹奏楽部の「Diamonds(ダイヤモンド)」の演奏とともに、  
合格者の受験番号が掲示されました。  
受験生は、番号が貼り出されるなり掲示板に駆け寄り、  
自分の番号を見つけて喜びの声をあげていました。  
携帯電話で家族に報告をしたり、友達と抱き合って泣き出す姿も見られました。

そんな受験生たちに混じって、今年も、「喜び隊」や、「胴上げ隊」など、  
受験生のふりをした一高生がたくさん出動していました。

軟式野球部の2の1 小菅駿(こすがしゅん)くんは、  
たくさんの部から宣伝を頼まれていました。  
小菅くんは、  
水泳部では、「一緒にイルカになろう」、  
ラグビー部では、「みんなでスクラムを組もう」など、  
オリジナリティー溢れる誘い文句で、新1年生を勧誘していました。  
ほかにも、剣道部、柔道部、生徒会などを紹介し、  
ちらしを 150枚くらい配ったそうです。

ちなみに放送委員会は、「君の美声を生かそう!」と紹介してもらいました。  
ありがとうございました。

今年は、インフルエンザの追試験により、  
発表が 予定より2日あとに延期されたため、  
受験生は、発表まで落ち着かない毎日を過ごしたようでした。

がっしりした体格の、西根中学校の えんどう ようきくんは、  
「自己採点で点数が足りなくて、  
9日間 ご飯が喉を通らないくらい気持ちが病んでいました。  
でも今は、合格できて本当にうれしいです。  
このあとは、家族で明月館(めいげつかん)に行って食べまくります!!」  
と話していました。

このほか、  
・ たまっていたドラマを見たい、  
・ ゲームをしまくりたい、  
・ 白聖祭でコスプレをしたい という声もありました。

また、例年どおり、  
「文武両道で、東京大学に入りたい」  
「予習・復習をしっかりとりたい」など、  
面接試験のようなことを言っている人もいました。

ところで、去年に引き続き、今年も 應援團や有志によるエールはありませんでした。  
合格発表に、なぜ、團や有志があらわれなかったのか、詳しいことは調査中です。  
ともあれ、新入生は、  
4月1日の生徒会オリエンテーションで、初めて應援團に出会うことになります。  
生徒会オリエンテーションでの團の動きに注目したいと思います。



新入生の入学手続きは、金曜日、  
生徒会オリエンテーションは、4月1日です。  
4月1日の生徒会オリエンテーションは、部や同好会の紹介の時間です。  
自分たちの部活の良さを思いきりアピールして、  
新入部員獲得に向けてがんばりましょう。

以上、先週の合格発表のもようでした。

ではきょうも、みなさんの活躍をお伝えします。  
まずは、テニス部です。

(取材：望緒)

今月の6日と7日に、テニスの11 (いちいちまる)カップが 仙台でおこなわれました。  
一高からは、男子 ふたチーム、女子 ひとチームが参加し、  
このうち、男子Aチームと女子が、ベスト16に入賞しました。

この大会には、東北各県から 32チームが参加しました。  
出場校のなかには 東北大会常連の強豪もいて、  
東北大会に近いレベルの大会となりました。

男子の試合は、

- ・ Aチームが 1回戦で仙台二高と戦い、2対1で勝ちましたが、  
2回戦で、今回優勝した 東陵(とうりょう)高校Aチームとあたり、  
0対2で敗れ、ベスト16でした。
- ・ Bチームは、1回戦で寒河江(さがえ)高校Aチームに、0対3で敗れました。

今回は、部員15人のうち 5人がケガをしているという、  
万全の状態ではない中での大会となりました。  
また、久々の試合で 緊張してしまったこともあり、納得のいかない結果となりました。

部長の2の5 永田海人(ながたかいと)くんは、  
「緊張していたのに加えて、アップが不十分で、最初から全力を出せなかった。  
これからは高総体に向かって、緊張感をもって練習していきたい」と話していました。  
女子は、1回戦でA仙台向山(せんだいむかひやま)高校Aチームと戦い、  
2対1で勝ちました。

2回戦の 山本学園高校Aチームとの試合では、  
相手のペースにのまれてしまい、1対2で負け、結果はベスト16でした。

今回は、女子も久しぶりの試合でしたが、  
冬の練習の成果が出せず、悔しい結果となりました。

キャプテンの2の5 佐々木舞衣(ささきまい)さんは、  
「ただがむしゃらに打っていても勝てないことを、今回の試合で再認識した。  
これからは 試合の組み立て方などを考えながら練習して、  
去年 果たせなかったインターハイ出場を目指してがんばりたい」と話していました。

冬が終わり、これから大会シーズンがやってきます。  
忙しい時期になるとは思いますが、高総体に向かってがんばってください。

次は、音楽部です。

(取材：千恵)

先週おこなわれた 声楽アンサンブルコンテストの全国大会で、  
一高音楽部が、全国4位にあたる 銀賞を受賞しました。  
おめでとうございます。

声楽アンサンブルコンテストは、19日の金曜日に、福島市音楽堂でひらかれました。  
この大会は、少人数での歌の美しさを競うもので、  
16人以下のグループでの演奏がおこなわれます。

一高からは、14人の混声チームが参加し、  
「This Marriage(ディス マリッジ)」、  
「EL HAMBO(エル ハンボ)」、  
「Axuri beltza(アッシュリ ベルツァ)」の 3曲を歌いました。

練習では、

- ・感情をこめて歌詞を読んだり、
- ・Mr.Drees(ミスタードリース)に発音を指導してもらったりして、  
「歌う」と言うよりも「語る」曲作りをこころがけました。

また、県大会よりも強弱に幅をつけたり、  
曲からイメージする情景などをみんなで話し合っ、  
表現の統一をおこないました。

本番は、

ステージ袖から待ち時間があまり無いまま舞台にあがって、  
始めは少し緊張していたそうですが、  
歌っている時は楽しくてしょうがなかったとのこと。

結果は、4位の銀賞でした。

一高より上の 金賞を受賞したのは、  
宮城県の第三女子高校、福島県の安積黎明(あさかれいめい)高校、  
それに、福島郡山(こおりやま)高校でした。

これらの学校は、すべて女声合唱でしたが、  
混声で出場した一高の演奏も、高い評価を受けました。

5人の審査員のうち、ひとりが 2位、ふたりが 1位をつけており、  
あと0.5点で金賞というところでした。  
金賞を受賞したのは 全て東北の高校ということで、  
全国大会でも、改めて東北の合唱のレベルの高さを感じたそうです。

リーダーの2の1 藤原香里(ふじわらかおり)さんは、  
「金賞をとれなかったのはすごく悔しい。  
音楽の感じ方は人それぞれだから、  
点数を気にしすぎるのは間違っているかもしれない。  
でも、自分たちの音楽が認められた結果が 点数にあらわれるのだとしたら、  
もっとたくさんの人に一高の演奏を認めてもらいたいと思った」と話していました。

アンサンブルコンテストで演奏した曲は、  
7月におこなわれる音楽部の定期演奏会でも 披露される予定です。  
定期演奏会に向けて、さらに美しいハーモニーを作ってください。

次は、登山部です。

(取材: 苑未、望緒、理央子)

21日の日曜日に、県ボルダリング選手権大会兼 千葉国体県予選会が  
県営運動公園でおこなわれました。

その結果、2の3 五日市るな(いつかいちるな)さんが、3位に入賞しました。  
おめでとうございます。

ボルダリングとは、小型のクライミングです。  
一体のピロティーにある練習台で、  
登山部がトレーニングしているのをみたことがある人もいます。

一高からは、  
ミドル高校生以下女子の部に、  
・2の3 五日市るな(いつかいちるな)さん、  
ミドル高校生以下男子の部に、  
・1の4 藤原寛(ふじわらかん)さんと、  
・1の8 加藤祐介(かとうゆうすけ)くんが参加してきました。

大会では まず予選がおこなわれ、  
規定時間の40分で、  
課題のクリア数が多かった 上位3人が 決勝に進みます。  
決勝では、1本のコースを 3分間でどこまで登れるかで順位が決まります。

五日市さんは、7課題中4課題をクリアして、予選を1位で通過しました。  
しかし 決勝では、疲れと緊張のためか、  
なかなか思うように登ることができず、結果は 3位でした。  
藤原くんは、予選で 5位、加藤くんは、予選で12位でした。

ボルダリングでは試合前に5分間、「オブザベーション」の時間が設けられます。  
オブザベーションとは、「観察」という意味の英単語で、  
その通り、決められたコースをじっくり見て、  
どのように登るか、頭の中で考えることです。

五日市さんは 決勝へ進出して、  
その「オブザベーション」が弱点だと、再確認したそうです。  
また、いつも練習しているコースをどう登るか忘れてしまい、  
最初で時間をロスしてしまいました。

五日市さんは、

「ボルダリングは努力した分だけ伸びる競技なので、  
これからもたくさん練習していきたいです」と話していました。

登山部の次の大会は、4人ひと組で参加する 高総体の登山競技です。

しかし今のところ、

部員は 女子がひとり、男子がふたりしかいないので、

順位がつかないオープン参加になってしまいます。

男女とも、部員を増やして、正式のチームで高総体に参加したいところです。

ということで、まずは生徒会オリエンテーションで、

新1年生のハートをつかめるようにがんばってください。

以上、きょうは、テニス部、音楽部と、登山部の活躍をお伝えしました。

あすからの春休みにも、大会や遠征がたくさん組まれています。

これらの結果については、新学期の放送で、どーんとお伝えします。

どうぞ、4月からも、お昼の放送に、ご期待下さい。

よろしく願いいたします。

では、天気予報です。<!--直前確認 0196177-->

きょう 午後の天気は、晴れ ときどき くもり、

- ・降水確率は、0パーセント
- ・日中の最高気温は、8度、
- ・あす朝の最低気温は、氷点下2度の見込みです。

外国為替(がいこくかわせ)です。

現在、1ドルは90円54銭、1ユーロ121円93銭です。

きょうの担当は、押田崇・菅原龍・藤本美保・竹内麻優子・阿部温子・名古屋謙彦、  
黒川絵里加・坂尾美帆と、村上泰基でした。

今年度のお昼の放送は、これで、おしまいです。

また、4月にお耳にかかります。

では、さようなら～

(音楽F0)